

9 畜産技術室の事業概要

(事業名) 肉用牛繁殖経営体確保・働き方改革推進事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
新規	H30～H32	26,457 千円 (0)	畜産技術室 (生産振興班)	097-506-3682 (内 3682)

事業の目的

高齢化が進む肉用牛繁殖農家の生産基盤の維持拡大を図るため、初期投資軽減と省力化による労働時間短縮の取組を支援する。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
施設整備支援対策	24,434	新規就農者	繁殖雌牛50頭規模の経営計画を有する45歳未満の新規就農者の施設整備と省力化機器の整備を一体的に支援 *UIJタ-ンは55歳未満 (1)畜舎・堆肥舎整備 (2)省力化機器整備 * (1)と併せて行う整備	県 1/3 市町村 1/3
担い手作業外部化推進対策	702	新規就農者	就農後2年目までの新規就農者に対するヘルパ-活用を支援	国庫定休型 国 1/3 県 1/6 市町村 1/6 国庫臨時型 国 1/2 県 1/12 市町村 1/12 県単型 県 1/3 市町村 1/3
作業外部化検討会の設置	1,000	放牧推進組織	外部化検討会を設置し、肉用牛ヘルパーやICT、空き畜舎活用等の県域展開を検討 各地区協議会における放牧用地確保等を支援	県 1/2 市町村 1/2
推進費	321			

(事業名) 肉用牛生産基盤拡大支援事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H29～H30	1,576,948 千円 (1,320,994)	畜産技術室 (生産振興班)	097-506-3682 (内 3682)

事業の目的

生産者の高い増頭意欲に応え、肥育及び繁殖農家の連携のもと、「おおいた豊後牛」の安定供給に向けた生産基盤を強化し、安全・安心で美味しい「おおいた豊後牛」のブランドの確立を図る。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
繁殖雌牛安定生産対策	48,700	生産者	積極的に規模拡大を図る繁殖農家が、繁殖雌牛の増頭(750頭/年)を行う際の経費の一部を支援 (1)子牛導入型(最大105千円) (2)成牛導入型(7歳未満最大48千円)	県 2/3 市町村 1/3
肥育牛安定生産対策	1,521,094	(株)大分県畜産公社	肥育農家の規模拡大を図るため、(株)大分県畜産公社による肥育牛預託貸付制度の実施に要する経費の貸し付け (1)素牛預託貸付金(H27.10～) (2)飼育管理預託貸付金(H28.4～)	貸付金
技術指導強化	2,957	県	オレイン酸に対する農家の認識を高めるための研修会開催や技術指導	
子牛市場活性化対策	3,000	生産者	第11回全共の出品牛を活用した子牛の造成を推進するための授精料の助成(9千円)	県 2/3 市町村 1/3
推進費	1,197			

(事業名) 肉用牛競争力強化対策事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H28～H30	56,268 千円 (94,685)	畜産技術室 (生産振興班)	097-506-3682 (内 3682)

事業の目的

TPP 合意や飼料高騰等の社会情勢の変化に対応し、本県の持続的な肉用牛生産基盤を確立するため、将来の中心的な役割を担う畜産経営体の収益力向上や規模拡大を支援するとともに、地域内連携による収益力向上に向けた取組を推進する。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
肉用牛収益力強化施設整備等特別対策	32,228	畜産クラスター-協議会	収益力向上を目標とした畜産クラスター計画に基づき、法人が規模拡大を行う際の施設整備を支援	国 1/2
リース型畜舎等整備支援対策	4,375	畜産クラスター-協議会	リース型畜舎を新規就農者が使用する際に、リース形式での家畜導入を支援	国 1/2 (上限 175 千円) 県 1/8 (上限 43 千円) 市町村 1/8
大規模経営体育成対策	19,467	生産者	生産基盤を支える中心的担い手を育成するため、規模拡大のための施設や省力化機械整備を支援	県 1/3 市町村 1/6
推進費	198			

(事業名) 第 12 回全国和牛能力共進会对策事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
新規	H30～H34	4,582 千円 (0)	畜産技術室 (生産振興班)	097-506-3682 (内 3682)

事業の目的

平成 34 年に鹿児島県で開催される第 12 回全国和牛能力共進会において、すべての区に出品し、第 11 回大会以上の優秀な成績を収めることで、「おおいた豊後牛」の銘柄確立を図る。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
肉牛区強化対策	4,062	県	DNA 解析技術等を活用し、効率的な出品牛の作出 ・モデル肥育牛を造成し、第 12 回全国和牛能力共進会の前年に枝肉診断を行い飼養管理技術を検証	
県推進協議会準備委員会の設置	520	県	出品対策や組織体制等の事前協議や指揮・指導の強化を目的とした第 12 回共推進協議会を組織するための準備委員会の設置	

(事業名) 酪農経営生産性向上対策事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H28～H31	164,873 千円 (115,371)	畜産技術室 (酪農・飼料班)	097-506-3684 (内 3684)

事業の目的

競争力の高い酪農経営体制を構築するため、乳用牛改良等による生産性向上、増頭促進、搾乳牛の能力発揮のための飼養環境整備、管理技術向上により生乳生産の低コスト化を図る。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
後継牛能力向上 対策	4,920	生産者	乳用後継牛確保のため、ゲノミック評価による優秀種雄牛の雌性判別精液を活用する際の凍結精液代の助成 (最大4千円/本×1,230本分)	県 1/2
体外受精卵作出 技術の確立	4,000	県	高能力の雌廃用牛から体外受精卵を生産し、酪農家へ配布する畜産研究部の現場実践活動の支援(200頭分を配付)	
乳用優良雌牛の 貸付	135,743	大分県酪農 業協同組合	酪農家の効率的な乳用牛改良を図るため、大分県酪農協による乳用雌牛貸付事業の実施に要する経費を貸し付け (限度額90万円/頭 100万円/頭)	貸付金
後継牛緊急確保 特別対策	11,500	生産者	酪農家が後継牛を含む搾乳牛の増頭を行う際の経費の一部を支援(最大69千円×250頭分)	県 2/3 市町 1/3
酪農支援対策施 設整備	7,125	生産者、大 分県酪農業 協同組合	酪農家が生産性向上や省力化対策を図るための施設整備や大分県酪農協が乳質検査機器を導入するための経費を支援	県 1/3 市町 1/6
推進費	1,585			

(事業名) 酪農基盤対策事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H29～H30	43,438 千円 (972,238)	畜産技術室 (酪農・飼料班)	097-506-3684 (内 3684)

事業の目的

県内酪農家は、近年経営環境の厳しさから生産基盤が弱体化し飼養戸数・頭数が減少している。そのため、畜産クラスター計画に基づき中心的な酪農家の規模拡大と基盤強化を推進し、生乳生産量の増加を図る。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
畜産競争力強化 対策	43,438	畜産クラス ター協議会	畜産クラスター計画に基づき、中心的な経営体が規模拡大を行う際の施設整備を支援	国 1/2

(事業名) 草地畜産基盤整備事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H29～H31	22,604 千円 (42,726)	畜産技術室 (酪農・飼料班)	097-506-3684 (内 3684)

事業の目的

高齢化等による畜産農家の減少や国際情勢の変化への対応が求められている中、経営の安定した担い手の育成による畜産産地の強化や安全安心な畜産物を供給するため、畜舎等の飼育施設や飼料生産基盤を整備し、「安全」「安心」な自給飼料の活用の促進と規模拡大等による担い手の経営改善を図る。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
草地畜産基盤整備対策	21,700	大分県農業農村振興公社	基本施設整備 草地造成・整備改良、施設用地造成整備	国 1/2 県 1/5
			利用施設整備 隔障物整備、家畜保護施設整備、牧場用機械整備	国 1/2 県 1/10
推進費	904			

(事業名) 県内飼料利用拡大対策事業

新規 継続	実施期間	本年度予算額 (前年度予算額)	担当課・室 (担当班)	連絡先 (内線)
継続	H28～H30	3,085 千円 (6,072)	畜産技術室 (酪農・飼料班)	097-506-3684 (内 3684)

事業の目的

放牧繁殖牛の再肥育を県内普及させることで、繁殖廃用牛の県外流出をくい止め、近年注目されている赤身牛肉としての質向上を図り再肥育牛の単価アップを図る。

事業の内容

事業区分	予算額(千円)	事業主体	事業の内容	補助率
放牧繁殖牛の再肥育技術の確立	2,289	県	再肥育技術の実証に係る飼料費、検査分析費	
推進費	796			